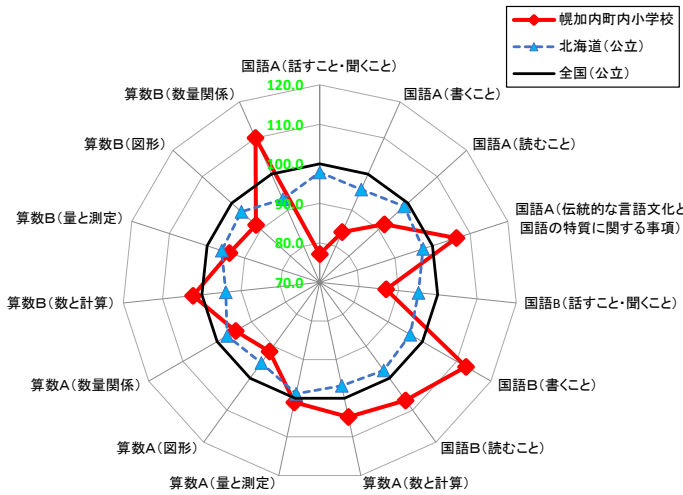


■幌加内町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:18名)

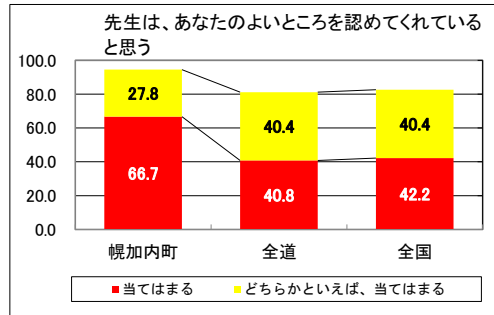
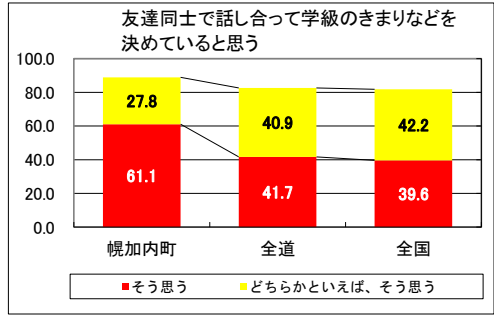
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

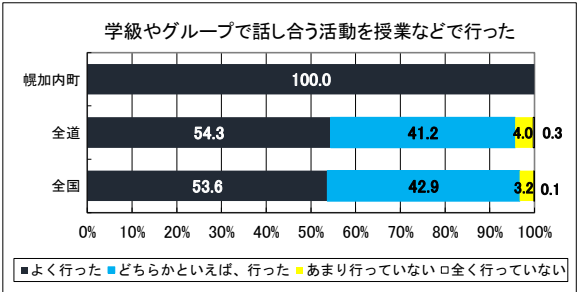
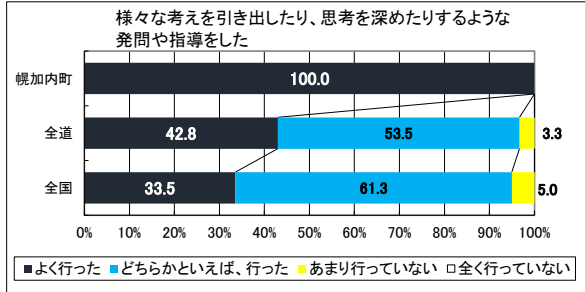
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|--|--|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「書くこと」「読むこと」で、全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」「量と測定」、Bでは、「数と計算」「数量関係」で、全国を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学級会及び授業等において、学級やグループで話し合う活動や、自分の考えを伝える活動を行ったことにより、学力が向上している。 |
| 児童質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「先生は、あなたのよいところを認めていると思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの多様な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問を工夫するなど、授業の改善を図る取組を行うことで、学力が向上している。 |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした」と回答している。 ○ すべての学校が、「学級やグループで話し合う活動を授業などで行った」と回答している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教師が児童のよいところを認めることで、児童が意欲的に学習し、学力が向上していると考えられる。 |

【幌加内町の学力向上策】

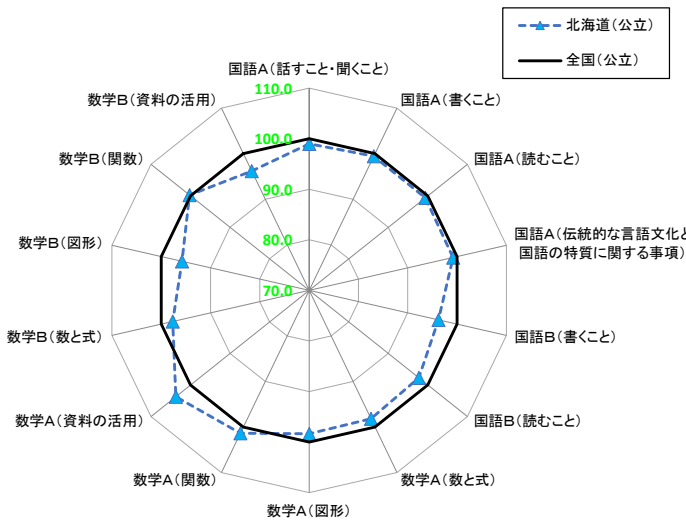
- ◎ 学習内容の確実な定着を図るICT活用や反復学習等の実施
- ◎ 実感をともなった「分かる授業」の創造と言語活動の充実
- ◎ 個別のニーズの的確な把握と個に応じた学習指導の充実

■ 幌加内町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数:1、生徒数:8名)

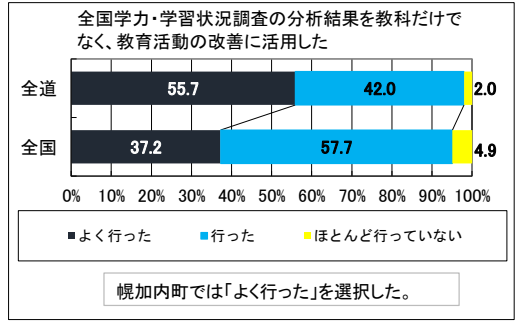
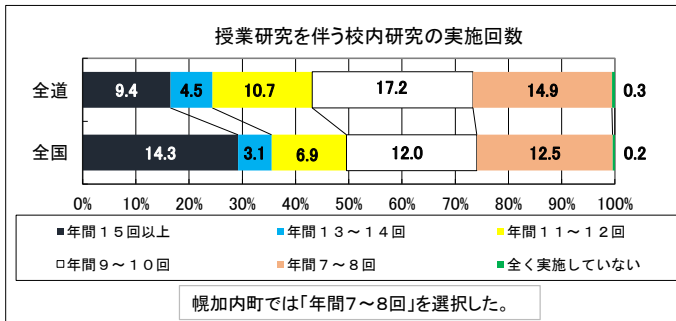
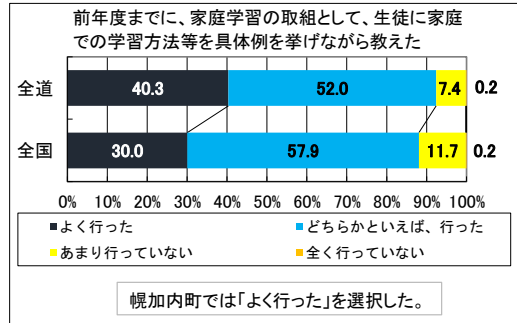
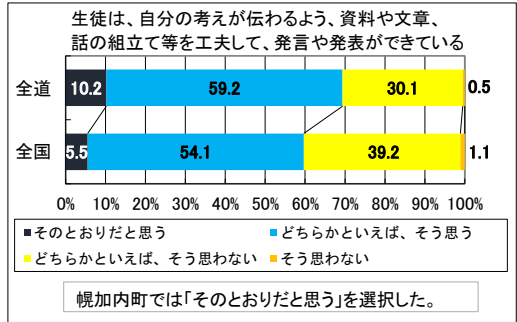
※ 生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、幌加内町の教科及び生徒質問紙のデータは掲載していない。

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道の状況をレーダーチャートで示したもの
(全道の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【分析】

| | |
|-------|---|
| 教科 | ※ 生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、幌加内町の教科のデータは掲載しない。 |
| 生徒質問紙 | ※ 生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、幌加内町の生徒質問紙のデータは掲載しない。 |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒は、授業において、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができています。 ○ 前年度までに、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた。 ○ 授業研究を伴う校内研究を年間7~8回実施した。 ○ 全国学力・学習状況調査の分析結果について、対象学年及び教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した。 |

【幌加内町の学力向上策】

- ◎ 学習内容の確実な定着を図るICT活用や反復学習等の実施
- ◎ 実感をともなった「分かる授業」の創造と言語活動の充実
- ◎ 個別のニーズの的確な把握と個に応じた学習指導の充実